

備後教区報

第 160 号

2016(平成28)年11月30日



結ぶ絆 から、広がるご縁へ

-From tying bonds to great encounters-

CONTENTS

- ◇伝灯奉告法要
- ◇第60回中・四国仏婦大会
- ◇宗勢基本調査説明会
- ◇仏青委員長インタビュー
- ◇行事報告
- ◇予報・インフォメーション
- ◇仏青全国大会

阿弥陀堂から御影堂に縁儀されるご門主と前門さま（10月1日）



ご親教されるご門主



10期80日間の伝灯奉告法要が開始

10月1日、第25代専如門主が、宗祖親鸞聖人があきらかにされた「浄土真宗のみ教え」（法灯）を継承されたことを阿弥陀如来と親鸞聖人の御前に奉告するとともに、またこの法要を機縁として、お念仏のみ教えが広く伝わることを願い、宗門内外によびかける、伝灯奉告法要が始まった。初日は来賓者が参拝対象で、2日より団体参拝が始まった。法要は来年5月31日まで10期80日間厳修される。

（教区報編集委員）

仏さまのお心になう生き方

実践運動の推進を通し、ともに確かな歩みを

10月1日、2500人の参拝者の中、ご門主、前門さま、僧侶、門信徒が、それぞれの装束を身につけ、阿弥陀堂より御影堂へと縁儀された。

ご門主導師により「奉讃伝灯作法」がつとめられ、法要後は「伝灯祝賀のつどい」が開かれ、ご門主がご親教された。

「伝灯祝賀のつどい」

では、ご門主、お裏方、前門さま、前裏方さまが、敬さまご臨席のもと行われた。

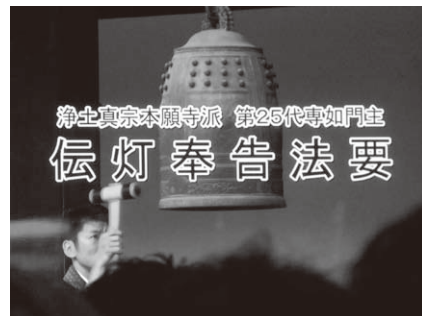
来賓者の挨拶では、世界仏教徒連盟のパロップ・タイアリー事務総長が、パン・ワナメッティ会長の祝辞を代読され、ボーイスカウト日本連盟の奥村孝康理事長が

祝辞を述べられ、若きご門主のこれからのリーダーとしての活躍を期待された。

2日からは団体参拝、一般参拝が始まり、多くの参拝者にぎわっている。法要の「奉讃伝灯作法」は、阿弥陀堂、御影堂で同時に勤まり、正信偈の途中（難中之難無過斯）で区切れられ、ご門主は阿弥陀堂から御影堂へ、前門さまは御影堂から阿弥陀堂へ向かわれる。この「ご転座」の間、阿弥陀堂と御影堂では、結果による行道が行われる。

法要後の「伝灯のつどい」では、ご門主、お裏方、敬さま、顕子さま、前門さま、前裏方さまと一緒に登場された。ご門主夫妻と敬さまへのインタビューがおこなわれ、和やかな時間が堂内に流れ、参拝者の方々の表情も笑顔となった。





▲祝辞を述べられるパロップ・タイアリー事務総長(10月1日)



▲「伝灯のつどい」でのご門主ご夫妻と敬さま、顕子さま、前門ご夫妻



▲北境内地に設置された休憩施設



▲境内にある本願寺おてらカフェ&マルシェ「AKARI」



▲御影堂に設置されたスロープ



▲期間限定で行われた「花灯明」

それぞれの装束を身につけ阿弥陀堂より御影堂内へと縁儀される様子(10月1日)



▲創作楽器「響灯」



Close-Up-Bingo

第60回中・四国地区 仏教婦人会大会を開催

8月24日(水)、第60回中・四国地区仏教婦人会大会が大谷光淳門主ご臨席のもと開催された。会場はコンベックス岡山。開会式では、大会回顧の映像が映し出された後、ご門主がご焼香され、ボーモリーズによる音楽法要ではじまった。趣向をこらした今回の大会を振り返って、宮丸こずえ連盟委員長に寄稿していただいた。

第60回中・四国地区

仏教婦人会大会を終えて

備後教区仏教婦人会連盟

委員長 宮丸こずえ

8月24日、第60回中・四国地区仏教婦人会大会を、ご門主さまご臨席のもと、2700余名の参加者を迎え、コンベックス岡山で開催しました。

昨年、教区委員長という大役を受け、役員の方と共に大会準備を始めましたが、なかなか全体像が見えず悩みました。常任委員会で話し合いを重ねる中で、『ご縁をひろげよう』と私からあなたへ』と大会テーマを決めました。今年四月には、実行委員会を立ち上げ、

5つの部会で熱心に論議し準備をしてきました。

大会前日は、実行委員だけでなく、仏士の皆さん、備龍会の皆さん、住職さん、坊主さん等、たくさんの方が暑い中、一生懸命に準備をしてくださいました。そして、遅くまでリハーサルや打合せが行われました。

大会当日。開会式は、集めた残蠟で手作りしてくださった蠟燭で献灯が行われ、幻想的な雰囲気の中で始まりました。記念講演は、天岸浄圓師が『自信教人信』のこころ』と題して、どう生きていくのかを身近な事柄を通してお話しくださいました。

お昼の弁当配布は、約3000人の参加者へ5分間で配るために前日から細かな打ち合わせをしてくださったお陰で、スムーズに行き渡ったと聞きました。

午後は、岡山龍谷高校の太鼓部の皆さんの迫力ある和太鼓演奏、中村好孝先生の映像を使っ



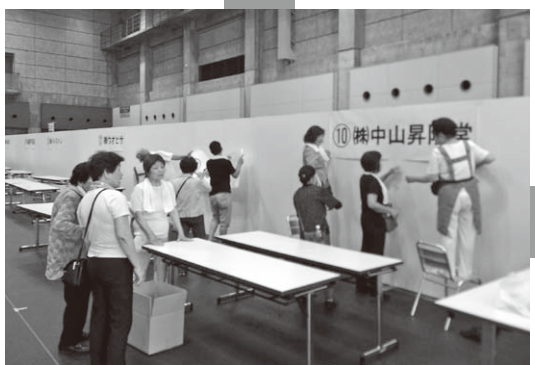
▶ご門主お言葉集



▲ 大会会場 コンベックス岡山



▲ 大会スタッフ



▲準備が整った会場内

椅子並べ等の会場内外の設置、物品販売の準備、
リハーサル…準備を整え明日の本番へ

写真で振り返る仏婦大会 前日の準備 8・23

た楽しいお話、そして5人の音楽家の皆さんの素晴らしい歌声を聞き、仏教讃歌を共に歌いました。歌い終わった後、大会テーマが書かれた三千の紙飛行機が会場内を舞い、感動の渦に包まれました。次期開催地の四州教区へ大会旗を渡し、大きな拍手の内に閉会しました。

り、大会が盛会の内に終了し、とても感謝しています。そして、この大会を通じてご縁が広げられたことを嬉しく思っています。後日、参加された方から、「とても感動しました。」「とてもいい大会でしたよ。」「という手紙や電話をたくさんいただきました。みなさん本当にありがとうございました。



大会当日 8・24



▶天岸浄圓先生 (午前)



◀中村好孝岡山龍谷高校専務理事 (午後)



▲献灯



▲宮丸委員長挨拶



▲ご門主で焼香

開会式



▲ボーモリーズによる音学礼拝



▲5人の音楽家による歌声



▲岡山龍谷高校太鼓部による演奏

午前も、昼休憩も、午後も充実した1日でした



▲ダーナ呼びかけ



▲熱気にあふれる会場内



▲会場への誘導



▲3000枚のメッセージカードが舞落ちるフィナーレ



▲盛況だった物品販売ブース

視点

第10回宗勢基本調査教区説明会

宗門の実態を分析

地域にあったお寺づくりが求められる

8月31日、備後教堂にて昨年の3月～4月に実施した第10回宗勢基本調査の教区説明会が開催され、30名の参加があった。この説明会は教区における教化施策や寺院運営支援に資するため開催された。

宗派出向の同調査実施センター

西光義秀調査研究員により、同調査で得られた情報・地域の特性について調査報告と説明がなされた後、参加者からの意見を集めた。

この宗勢基本調査は原則5年ごとに実施され、今回は1万207ヶ寺の寺院住職を対象に行われた。回収票は6,952票となり、全体の68・1%であった。

質問票は、大きく4つの質問群によって構成されている。「基礎情報」「寺院活動」「寺院の基盤」「宗門活動の認知や意見」である。

調査結果をみると、問39の「葬儀に関して、近年変化したことがあるか」の問いに対して50%を超えたのは、家族葬が増えた(70%)、還骨勤行と初七日の併修が増えた(57・5%)、導師ひとりでのお勤めが増えた(54・6%)であった。

これは過疎、過密地域に関わらず、よく話題に上がる事が調査結果に反映されている。

「宗門の基本的な方針として、特に重要だと思うもの」として「過疎地域所在寺院と離郷門徒への対応」を挙げたのが全体の4割を超す43・7%に達した。

調査回答率は100%ではなかったが、集約された備後教区の現状や特色を知ることができた。

例えば、備後教区では、寺院の報恩講法要の日数は1日という回答が全国に比べて高く、法要日数・座数が減少傾向にあること、また、「家族葬やひとり葬が増えた」という寺院の比率が全国より高いこ

とも調査結果から見えてきた。

また、家庭での報恩講参りを行っている寺院が回答寺院のうち8割超、家庭での盆参りは9割近くが行っている。全教区を見渡しても高い数値となっており、それぞれの家庭で門信徒との触れ合いができることは貴重な文化といえるだろう。

また、寺院で伝道教化活動(学習会やコース等)を行っている回答した教区内の寺院は全国平均より高く、それぞれの寺院が様々な工夫をしながら活動していることがうかがえる。

寺院の護持運営については全国的に「厳しい」との回答が半数を超えるなか、それぞれ地域の特色を生かし、地域にあったお寺づくりが求められる。

宗勢調査の目的

宗勢調査は、宗門全体の動勢を捉え、宗門に包括される一般寺院及び非法人寺院(以下「寺院」という。)の現況を統計的に調査し、調査時点における宗門の実態が、宗務全般に十全に反映されるよう分析し、宗門の抱える諸問題への適切な対応解決を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

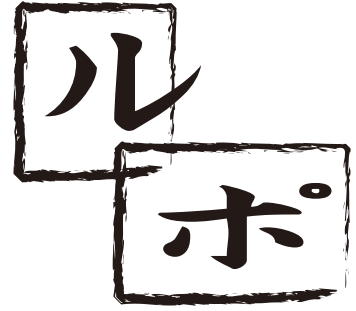
第10回宗勢基本調査実施条例より
(平成27年宗達第1号)

問87 宗門の基本的な方針として、特に重要だと思うものを選んでください

回答	実数	%
1. 子ども・若者ご縁づくりの推進	3645	54.5
2. 首都圏伝道の強化	1029	15.4
3. 過疎地域所在寺院と離郷門徒への対応	2920	43.7
4. 信頼ある僧侶と布教使の養成	2832	42.4
5. 法要や法座活動などの基本的活動の再充実と推進	2314	34.6
6. 重点プロジェクトのさらなる推進	433	6.5
7. 念仏者の生活実践の展開	1574	23.5
8. その他	383	5.7
回答者数	6685	

▲資料① 宗報1月号より

新仏教青年連盟委員長に聞く



昨年、備後教区仏教青年連盟委員長に櫛田教人さん(深津組崇興寺門徒)が就任された。インタビューを通して新委員長の人柄、お寺とのつながり、思いをお届けします。(聞き手=教区報専門委員)



新たな一歩...

櫛田教人 (くしだのりと)

福山市沖野上町在住 1985年4月30日現在 31歳

住職から懇願されて:

Q はじめまして、今日はよろしくお願いします。

A よろしく申し上げます。

Q 少し自己紹介をして頂けませんか?

A はい、櫛田教人31歳です。崇興寺の門徒で住職の枝廣慶樹君とは中学高校の同級生です。...何を言ったらいいのでしょうか?

(笑)

Q はい大丈夫ですよ(笑)では何か趣味などはございますか?

A そーですね、もともとサッカー部だったので、サッカーは今でも大好きです。あと映画鑑賞もよくします。夜に映画館に行つてまったりするのが好きですね。

Q ありがとうございます。では昨年、備後教区仏教青年連盟委員長に就任なされたということですが、どのような経緯があったのでしょうか?

A 私の菩提寺である崇興寺の住職から電話があつて、「とにかく仏青の委員長になって欲しい」と懇願されました(笑)。正直どのような役職なのかよく分からなかったのですが勢いに押されてお

受けしました。

Q それはかなり強引ですね!?

A そーですね。住職はそういうところがあるかと...(笑)

Q 住職さんとは同級生とお聞きしましたが?

A はい、中学一年のクラスが同じでそれからずっと仲のいい友人です。

父の死を縁として

Q 仲のいい友人ということもあつての強引きだったんですね。では、もともと崇興寺の門徒だったのですか?

A いえ、はじめはどこのお寺ともお付き合いはありませんでした。

Q では、お寺のお付き合いはいつから?

A 私が大学生の頃、父が亡くなりましてその時に彼にお願いしたのがきっかけです。

Q お父様がお亡くなりになったのですね。もう少しお聞かせいただけますか?

A はい。私が大学在学中の21歳の頃父が亡くなりました。もともとどこのお寺さんともお付き合い合

いはなかったので、友人だった彼に電話をしました。もちろん彼も大学生でその当時京都に居ましたが、すぐに福山に帰ってきて通夜と葬儀を勤めてくれました。それから櫛田家は崇興寺の門徒になりました。

Q それは大変でしたね。

A はい。うちの家は父と母と私と妹の4人家族だったので、私はすぐに大学を中退し仕事をすることにしました。大学を辞めなくてはならないのは少し寂しいことでしたが、母やその当時小学生だった妹を養っていく必要があったので、仕事に打ち込みました。

Q ご苦労があったんですね。

A まあ人並程度には…。でもよかつたのは、仕事は案外上手くいつて早い段階で会社を設立して代表取締役という立場で仕事させてもらいました。その当時は色々ありましたが、いい経験をさせてもらったと思います。養うものがあると仕事は頑張れますね(笑)

お寺っていいものだと思う

Q それは凄いことですね。とても立派だと思います。色々なご縁の中から今備後の仏青委員長に

なられて、何か思うことはありませんか？

A そーですね。委員長というものにまだあまり実感はないんですけど、率直にお寺ってとてもいいものだと思います。私の家族や親族もお寺のことが好きですし、浄土真宗の教えもその通りだと思える事ばかりです。自分に何ができるか分かりませんが、お手伝いできることがあればお手伝いしたいと思います。

Q ありがとうございます。宗教というものに対して何か思う事はありますか？

A 宗教に対しては何となく触れにくいイメージがありました。今でもそうかもしれません。でも住職がいつも浄土真宗のことを分かり易く教えてくれるので、浄土真宗に対しては素直に頷ける感じがします。私には合ってるんじゃないでしょうか。

Q 私に合わせてくださる仏様ですもんね。有難いです。

A そーですね。委員長としてというよりも一若手門徒としてこれから協力していきたいと思っています。益々住職とも長く深い付き合いになりそうです。(笑)

ご協力をお願いします

Q お寺では何かしていることがあるんでしょうか？

A はい、20代、30代、40代の若手門徒の会が作られて私はその会の一会員という立場でもあります。

Q へー、若手門徒の会ですか。現在は何名ぐらいおられるのですか？

A 現在は14名の会員で会長さんは46歳の方ですね。まだ全員と顔合わせはしたことがないので、ほんとこれからという感じですけど。

Q どんな活動をなさるのですか？

A 基本的には子どもを対象としたイベントを運営していきたいです。今年はサマースクールを企画しまして、来年2月にもウィンタースクールを行います。年末には忘年会をする予定になっていますね。

Q 櫛田さんがいれば何かうまくいきそうな気がしますね。

A いや、それは：僕じゃほんと力不足ですよ。でもみんなであれば色々なことができるんじゃないかな

いかって期待しています。

Q それは楽しみです。最後に備後教区の皆様に何か一言お願いします。

A それは少し身が重いですが(笑)。ええこの度、備後教区仏教青年連盟委員長をお受けしました櫛田教人です。何も分からない若造です。色々ご教示頂ければと願っておりますのでよろしくお願い致します。また備後教区内でも何かしら仏青の行事を行ってきたいと思っておりますので、その際にはご参加頂ければ幸いです。何卒宜しくお願い致します。

Q ありがとうございます。

A ありがとうございます。

櫛田さんはとても柔和で丁寧な方で、時折見せるシャイな感じがとても愛らしい方でした。私の質問に対して、一つ一つゆっくりお考えになられてしっかり回答してくださいましたので、備後仏青委員長という立場をとっても真面目で真剣に考えてくださっているように感じました。私自身これからの備後仏青の活動に興味を持てましたし、期待したいと思います！皆様乞うご期待です！

News & 活動情報

「奉讃伝灯作法」を学ぶ

【勤式】 去る9月1日(木)

本願寺備後教堂にて前期勤式研修会を開催した。講師に本願寺式務部・邊春真乗会役者を招聘し、午前中はこの度伝灯奉告法要の流れについて、午後からは法要にて依用される「奉讃伝灯作法」について講義をいただいた。

この度の「奉讃伝灯作法」は大遠忌法要時に制定された宗祖讃仰作法の音楽法要をベースとしたお勤めとなっており。会役者指導のもと参加者皆で実際にお勤めするなど、法要に向け機運の高まる研修会となった。



▶ 邊春真乗会役者



ぬくもりと共に仏道を歩む

【ビハーラ】 去る9月14日(水)

備後教堂にてビハーラ活動者のつどい、ビハーラ備後研修協議会を開催した。午前のつどいでは、各々個人又は他団体でのビハーラ活動についての報告や活動での悩み等発表いただき、今後のビハーラ活動の在り方について協議した。

午後からの研修会では三谿組善徳寺 長谷川憲章住職を講師に迎え「ぬくもりと共に仏道を歩む」を講題に講師の実体験も織り交ぜながらビハーラ活動の基本的な視点についてわかりやすくお話しいただいた。



▲ビハーラ活動についての研修会

ふれあい囲碁を体験

【子ども・若者で縁づくり】 去る9月27日(火)

備後教堂にて教区門信徒の集い(子ども・若者で縁づくり公開講座併催)を開催した。世代を超えたこれからの教化活動の在り方を考えるべく、人と人とのつながりをメインテーマとし、幼児でも1分程度のルール説明で簡単に出来、年齢を超えて世界中の全ての人と向き合い、ふれあうことが出来る「ふれあい囲碁」の普及に尽力されている囲碁棋士9段・安田泰敏さんを講師にお招

きし研修を行った。研修では安田さんが考案された「ふれあい囲碁」を実際に体験、必ず自己紹介をし、相手に自分の夢を語った後に対局開始となる。勝敗はつくが会話をせずとも自分の置く一手に相手が反応してくれる、今自分が人とつながっているという充実感をもつことができる。

人と人とのつながりが希薄となっている現代において、お寺という人が集まる環境でふれあい囲碁というひとつのツールとして活用できる可能性を感じる研修会となった。



ホームページの紹介

備後教区では、教区行事開催のお知らせや、google カレンダーでの行事予定表の掲載、FM福山「お坊さんステーション」の収録などを随時更新しています。

詳細はHPにて。

→ <http://bingo.gr.jp>

→ 備後教区で検索

自分らしく生きられるように

【ビハール】ビハール備後では、7月29日(金)、京都府城陽市のあそかビハール病院にて見学研修を開催。参加者7名。

はじめに病棟の見学。仏教精神を理念とした独立型緩和ケア病棟(ビハール病棟)だけあって、院内あらゆるところに「温もり」「思いやり」を感じさせられた。

その後、管理栄養士さんから食事はそのもの。食を通して過去を懐かしみその思いに安らぎを感じてもらえるようにする事が「食への思いに寄り添う」事であると。看護士さんからは、共に働く僧侶た



▶あそかビハール病院内

ちと「温もり」と「おかげさま」のところで安らぎの医療を実践していきたいと。

僧侶の話から、患者さんのさま

ざまな苦悩に耳を傾け自分らしく生きられるように援助されている事、また愛する人との別れからくるご家族の悲しみにも寄り添っておられる様子がうかがえた。

死に直面されている方が、残された時間を自分らしく生きられるよう、懸命に寄り添うそのエネルギーはどこから湧いてくるのだろうか。

総代研修会開催

【総代会】 去る10月31日(月)11月1日(火)、備後教区門徒総代会研修会を、31日は南部の芦田組明浄寺(立神義昭住職)、1日は北部の世羅組照光寺(脇本寿真住職)を会場に開催した。

講師に前中央仏教学院院長・安芸教区豊田東組専教寺・白川晴顕



▶白川晴顕講師

住職をお招きし、ご講題「浄土真宗の教えと目覚め」にて午前午後とお話しいただいた。

初秋の冷え込み厳しい2日間ではあったが、延べ186名と多くの総代・ご住職に参加いただき、有意義な研修会となった。

▼31日会場(明浄寺)



▲1日会場(照光寺)

教区月報

8月	11日	17日	18日	19日	23日	24日	31日	9月	1日	2日	6日	8日	11日	13日	14日	15日	26日	27日	10月	3日		
常例法座	第13回真宗講座	仏婦中四国大会責任者会議	仏婦中四国大会準備・役員会	仏婦中四国大会前日準備	仏婦中四国大会	宗勢基本調査説明会	ビハール実践学習(花の里)	前期勤式研修会	同朋社会部会	仏婦役員研修会	門推世話人会	常例法座	おつとめ教室・勤式練習会	ビハール活動者のつどい	ビハール備後研修協議会	子ども・若者ご縁づくり推進委員会	少年連盟役員会	同朋社会部会	テキスト学習会	組長会	門信徒の集い(子ども・若者ご縁づくり公開講座併催)	平和のつどい実行委員会

新たな戦前にしないために

【平和のつどい】10月13日、く
い文化センター(三原市久井町)
に於いて、300人が参加して、
「第21回備後教区平和のつどい」
が開催され
ました。



▶鈴木君代講師

今回は、
世羅組・御
調束組・御
調束組担当
の下、全戦
争犠牲者追
悼法要が勤
まり、講師



▲▼く文化センターを会場に開催

に鈴木君代さん(真宗大谷派僧侶)
を迎え、「いのちの花を咲かせよ
う」と題して、講演がありました。

神道の信仰を持つ家庭に育ち、
念仏に遭遇し、自ら僧侶となつた
彼女は、シンガーソングライター
でもあり、その凛とした歌声で伝
えられた「兵戈無用(ひょうがむ
よう)」「武器も兵隊もいらな
い」の響きは、「平和のつどい」の原
点を確認させてくれました。

最後に「今という時を 日本
の新たな戦前にしないために」と題
したアピール文を採択して閉会し
ました。

「集団的自衛権」の名の下、戦



争の下、戦
の国への
歩みをは
めたこの
国にあり
て、「平和
のつどい」
の果たす
役割は大
きくなつ
てきまし
た。

特別布教大会

【布教団】布教団では10月29日、
御調束組法光寺(季平博昭住職)
にて、特別布教大会を開催した。
特別布教大会出講者(敬称略)

三條義見(鴨川北組円福寺)
真澄慎一(世羅組善行寺)
藤井義英(比婆組西教寺)
枝廣慶樹(深津組崇興寺)
是山宗憲(世羅組真行寺)
栗原一乗副団長(世羅組浄楽寺)



30日	25日	24日	18日	15日	11日	8日	1日	11月	31日	27日	26日	23日	22日	20日	13日	12日	11日	6日	5日	4日	
教堂報恩講	常備会	仏婦役員会・おみがき	賦課基準等調整委員会	勤式練習会	おつとめ教室	常例法座	総代研修会(世羅組 照光寺)	ビハール実践学習(寿園・相扶園)	総代研修会(芦田組 明浄寺)	運寺、三谿組、三次組	団参(備中里組教善寺・高)	団参(備中里組本林寺)	団参(御調束組1班)	教区報編集委員会	第21回平和のつどい	おつとめ教室・勤式練習会	常例法座	西組寺族婦人会	団参(世羅組1班)	災害対策委員会	第14回真宗講座

備後教堂にて仏前結婚式

以前、従兄の仏前結婚式に参列して、とても感動したので、私も結婚式を挙げるのだったら仏前で、と思っております。

当日は職員の皆様が、教堂全体を厳かに、又美しく準備して下さい、いつもとは全く違う雰囲気ですびっくりいたしました。と同時に、私達二人の為にと思うと、もったいなくて感激いたしました。

又、暑いさ中、冷房をしっかりと効かせていただき大変助かりました。



人生を正しく生きること

を忘れず二人で明るい家庭を築いていこうと、改めて思いました。

所長様をはじめ、教堂のみなさま、本当にありがとうございました。



永岡 千明
赤柴 弥苑

教化資料BOX

子どもたちとの思い出づくり・仏縁づくり 子ども法話リーフレットのヒント

「出会った子どもたちに、どのように声をかけてよいかわからない。」
「今時の子どもたちが、何を考えているかわからない。」
「そもそも、子ども向けの法話なんであるのかなあ。」

「次世代への仏法相続の重要性はよくわかるけど、その実践は難しい



よみきかせ



こどもほろわ

おかげさまで

子どもたちと一緒に 味わってみませんか？

浄土真宗本願寺派では、「大人が、子どもら若い世代とともに阿弥陀さまのご縁にあっていこう」というキッズサンガ活動（子ども・若者ご縁づくり）を展開しております。

子どもたちに教えるにはどうすれば？と考えました。ひとつの手立てとして、子どもたちに読み聞かせるやさしい法話リーフレットを作りました。

読み聞かせることを通じて、家族で子どもたちと一緒に、阿弥陀さまの願いの中にあるいのちのたしかさに触れ、語り合う縁となれば幸いです。

浄土真宗本願寺派備後教区
子ども・若者ご縁づくり推進委員会



2016年11月発行



い。」という声を多く耳にします。私たちが日常お勤めする通夜・葬儀・法事、そして月忌などの仏事は、子どもたちにとっては非日常の場なのでしょう。しかし、非日常ということはマインスばかりではなく、あらゆるものが初めてで、子どもの好奇心が駆り立てられ、「聞きたい」「知りたい」と、子どもの耳が自然に開く場にもなり得るのです。耳が開いたならば、真剣に向き合おうとする人の言葉は、（たとえその時難しいと思っても、）子どもの体験には、確かに刻まれます。

「子どもにもわかりやすい法話を・・・。」と思われた時は、この子ども法話リーフレットを使ってみてください。「今日の法事の記念です。家に帰って読んでみてね。」と一部ずつ目を見て手渡してもよし。親御さんに渡して「子どもたちに読んであげてください。」もよいと思います。また、大人へのご法話の前に、子どもたちに直接語りかけるご法話の題材として使っていただけなら最高です。

子どもたちは、「自分に語りかけ、自分のことを気にかけてくれる人があるんだ」という、その場の体験を心に刻むでしょう。きっと、その原体験が、子どもたちの生きる力を支えているのだと思います。さあ、今日も・・・。

教区行事の予定

- 12月
 4日 青年布教大会(鴨川北組 照専寺)
 6日 青年布教使四州との交流会
 7日 門信徒部会
 8日 広報伝道部会
 11日 常例法座
 12日 僧侶宗会議員選挙
 14日 臨時教区会(門徒宗会議員選挙会)
 19日 組長会
 22日 布教団副団長会議
 28日 午後より仕事納め
- 1月
 10日 仕事始め
 11日 常例法座
 17日 賦課基準等調整委員会常任委員会
 24日 おつとめ教室
 25日 災害対策委員会
 26日 布教団役員会
 31日 第15回真宗講座
- 2月
 2日 後期勤式研修会
 6日 布教団連区連絡協議会
 9日 賦課基準等調整委員会
 8日 おつとめ教室
 11日 常例法座
 13日 仏教教養講座(備龍会)
 21日 ご縁づくりサポーター協議会
 23日 同朋三者懇話会(尾道人権センター)
 24日 僧侶研修会(御調東組 照源寺)
 27日 布教団臨時総会・研修会

3月	2月	1月	12月
「救いは他力 報謝は努力」 千葉隆誓(芦田組・光明寺)	「念仏者の生き方」 平山智正(深津組・光圓寺)	「みほとけとともに」 佐々木弘海(鴨川北組・照専寺)	「親の安心 子の安心」 伊川大慶(三次組・西覚寺) 「阿弥陀様にいだかれて」 尾道市(鴨川北組・照専寺)

教堂常例法座出講者

(敬称略)

予報・インフォメーション

青年布教大会

期日 12月4日(日)

会場 鴨川北組 照専寺

朝席 10時

枝廣大智(深津組崇興寺)

那須智雄(沼隈西組大東坊)

竹政信至(鴨川組正覚寺)

昼席 1時30分

島津恵航(世羅組正満寺)

佐藤知水(中組 光栄寺)

北山祐章副団長(沼隈南組光源寺)

第15回真宗講座

期日 2017(平成29)年1月31日(火)

会場 備後教堂

論題 「聖道権実」

～浄土真宗以外の仏教をどうみるか～

僧侶研修会

期日 2017(平成29)年2月24日(金)

会場 御調東組 照源寺

講師 深川宣暢 勧学

第11回こども大会

～ウォークラリー～

期日 2017(平成29)年3月27日(月)

会場 御調東組 浄泉寺 尾道市内



対象は小学校1年生から
6年生(新1年生含む)

参加費 1000円

(弁当代含む)

春休みの行事にご予定
ください

得度許可

おめでとうございます
「敬称略」

比婆組 禪佛寺

矢田谷勲子(釋淨勲)
(平成28年6月15日付)

神石組 金蔵寺

杉原 仁美(釋仁真)
(平成28年7月15日付)

神石組 光徳寺

相 雅芳(釋雅芳)
(平成28年7月15日付)

深津組 光榮寺

平山 文美(釋文美)
(平成28年7月15日付)

三谿組 照善坊

福間 帰依(釋帰依)

三谿組 照善坊

福間 願 (釋願音)
(平成28年8月10日付)

教師授与

おめでとうございます
「敬称略」

世羅組 浄楽寺

栗原 倫子(釋倫泉)
(平成28年7月28日付)

三次組 善照寺

安部 宜承(釋宜承)
(平成28年8月29日付)

敬 弔

お悔やみ申し
上げます

「敬称略」

沼隈西組 浄泉坊

大迫清次郎 (8月24日寂)
沼隈西組 万福寺 衆徒

南 壽雄 (9月5日寂)
沼隈西組 光満寺 前坊守

赤柴 公子 (9月11日寂)
神石組 教西寺 前坊守

馬屋原サカエ(9月21日寂)
沼隈西組 成願寺 住職

森本 宏彰 (9月21日寂)
神石組 金蔵寺 前住職

杉原 順正 (9月25日寂)
世羅組 法泉坊 衆徒

渡邊 文道 (10月6日寂)
世羅組 明善寺 前坊守

長岡 節子 (11月16日寂)
御調束組 福善寺 前住職

大田垣正圓 (11月17日寂)
世羅組 法泉坊 前住職

毛利 令尊 (11月24日寂)

会館休館日

下記の期間、教務所業務を
休みます。

**12月28日(水)午後
～1月9日(月)**

※死亡届は組長さんを通して本山にお届
けください。

お坊さんステーション

インターネットでのラジオ視聴方法

■ <http://fm777.co.jp/pc/index.html>

■ 上記ホームページの左上「ウェブラジオ」をクリック

■ 画面切り替わって中央の「映像スタート」をクリック
※ラジオ放送時間をご確認ください。

※動画は固定カメラでの映像です、基本は音声放送です。

放送時間

月曜…午後6:10頃

木曜…午後6:10頃

FM77.7MHz FM77.7MHz
Radio BINGO

編集後記

伝灯奉告法要が勤修される今年、去る10月9日西本願寺において「仏教青年連盟50周年記念の集い」が開催された。詳細は「KIDS SANGHA PRESS」に依るものだが、今一度「仏青」活動の是非を問いたい▲少子高齢化、レジャーや価値観の多様化の中で、「仏青」活動が壊滅的状况に在るのは、何も我が教区に限った事ではない。そして、現況を聞けば、どの教区も「危機感はある」「必要性は強く感じる」「寺族内では結束が深まっている」との声。それなのに、今一つ盛り上がらない…つまり、寺族と一般との間に少々の感覚の「ズレ」が在る様だ▲先年の仏青備後教区開催(鞆の浦)での講師、梵大英師の言葉が耳に痛い。「寺は人に足を運んで欲しいと願うなら、何故自らも人の中に飛び込まないのか?寺に鎮座して声をあげるばかりでは虚しい」

(K・M)

結成50周年

仏教青年連盟

「温故知新」をテーマに、10月9日、「伝灯奉告法要協賛仏教青年連盟結成50周年記念の集い」が本山で開催された。備後教区からは61名が参加した。

(文責・教区報専門委員)



▲御影堂前にて記念撮影

備後教区仏教青年連盟は、去る10月9日に浄土真宗本願寺派仏教青年連盟「結成五十周年記念の集い」に参拝した。教区内寺院のご協力のもと、備後教区からは計61名の参加があり、全国で一番参加者数の多い教区となった。

ご案内の通り、この度は大型バスにて日帰りをする弾丸参拝ツアーだったので、参加者の皆様の疲労もあったと思うが、多くの方

と共に本願寺の御影堂に参拝することができ、とても実りある仏縁であった。

記念講演ではカトマンズ本願寺のソナム・ワンディ・ブティア開教事務所長が、御影堂にて熱く阿彌陀様のお話しを語られた。「南無阿彌陀仏のお名号はたった六文字だけど、このお名号には凄くパワーがあるんです!」と、独特の語りは、厳しい仏道修行を経たソ

更なる仏縁の広がりを願って

ナム所長にしか語れないものであったと思う。

記念行事は各教区対抗のブースコンテストだった。輪投げ、射的、脱出ゲームなど思考を凝らしたブースが出店された。備後教区のブースは「佛ったまげアート」を開催。平面の絵があたかも浮き出しているかのようにみえるもので、そこに立って写真を撮ると、浮いた蓮台の上にいるように見えるアート作品。多くの方に楽しんでいただいたが、コンテストの結果は残念ながら優勝には至らず2位となった。

備後教区仏教青年連盟はこの度の集まりを糧に、これからも更なる仏縁の広がりを願って活動してまいります。どうか、ご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。



▲日帰りの弾丸ツアーでした

『教区報』の編集にあたり、皆様のご意見やご感想、情報の提供をお待ちしています。教区報専門委員会まで、一報ください。

TEL (084) 924-5759
fax (084) 931-6363